

昨年4月から、公共施設の指定管理者制度に基づき、各地区の公民館の運営をその地域のまちづくり協議会などへ委託しました。

「社会教育通信」では、各地区における新しい事業への取り組みを紹介しています。第2回は「斎川公民館」です。

活動の目標

「絆を強める・深める まちづくり」 斎川

重点事業は「さい遊館(さい川子ども居場所づくり)」と「馬牛沼産直センターの支援」

斎川公民館は、自治会、民生委員会などの地域に関係する各種団体の代表者などで組織する「斎川まちづくり協議会」により運営されています。活動の目標を達成するために、「さい遊館(さい川子ども居場所づくり)」、「馬牛沼産直センター」の運営支援(運営主体：斎川馬牛沼産直センターの会)の2つの事業を重点にさまざまな事業を展開しています。

さい遊館(さい川子ども居場所づくり)

斎川小学校1年生から6年生までの児童を対象に、さい川子ども居場所づくり「さい遊館」を行っています。心豊かでたくましい子どもを地域全体でぐくむため、学校のミーティングルーム、体育館、校庭や公民館などを活用して、安全で安心な子どもたちの活動拠点「さい遊館」を設けています。指導員や協力員には、高齢者や若者、女性など約30名の皆さんが参加し、放課後における遊び場の安全管理や指導を行っています。

活動は週2～3回で、放課後の遊びの場のほかに、週末にはソフトボールやサッカーなどのスポーツを地域の皆さんと一緒にを行い、地域住民の皆さんとの交流の場となっています。



▲もっともっと高く積みたい!みんなで慎重に。異学年の交流活動です。

新年講演会

1月15日、斎川公民館において、まちづくり協議会とさい遊館の共催で、青少年にかかわる家庭・学校・地域のあり方について講演会を行いました。「心のキャッチボール」と題して横山幸子氏にお話をいただきました。当日は、予想以上の参加者となり、ユーモアたっぷりのお話の中に、昔話などを交えた講演で、参加した皆さんから、「言葉ってふしぎな力を持っているんですね」「親の子育てが少し分かりました。もっと聴きたかった。」「いい話だった。しばらくぶりで、すがすがしい気持ちになりました。」など、「素晴らしい話だった。」「良かった。」という感想をたくさんいただきました。

青少年問題は親の子に対する向き合い方と多くの人的環境によるものであり、子どもが幼いうちからの子育て支援の大切さが改めて分かりました。



▲梁川どうし町の会の横山幸子会長。全国各地で地域に伝わる昔話の伝承活動をしています。

指定管理者制度が発足して1年。皆さんの協力のおかげで準備不足が多い中、事業を進めてくることができました。「おかげさまで」の感謝の一言です。

とりわけ斎川地区は、公民館が主催・支援する「子ども居場所づくり」の月曜日の放課後、土曜日の活動の笑顔の子どもたち・「馬牛沼産直センター」の好評販売」の2つの目玉事業により、順調にまちづくり活動が進展しています。

さらにより良い活動を行うため、皆さんのアイデア、ご意見をお待ちしています。

☎斎川公民館 ☎25-2701 ☎24-4304

もちつき大会

昨年12月25日、子ども会育成会とさい遊館の共催で恒例のもちつき大会を開催しました。地域の方や保護者の協力で前日から準備を行い、きねでペッタンペッタンともちをつき、雑煮・きな粉・ゴマ・納豆もちにいただきました。おいしくて「おかわり」の声があふれていました。

終了後には、こままわしやたこあげを行い、一日楽しく過ごしました。また、一人暮らしの方にも切りもちにして、民生児童委員の皆さんの協力でお配りしました。



▶僕たちも早くやりたいよー。もちつきって面白そう。

馬牛沼産直センターの運営支援

馬牛沼パーキングにあったラーメン店を市から借り受け、既存の建物を改装して地場産野菜などの直売所として「馬牛沼産直センター」を開設しました。

地域で農産物を栽培する高齢者の皆さんが、農産物の直売所を開設することで生きがいを感じ、今まで以上に元気に働き続けていける環境づくりを目標としています。

店内には、米や旬の野菜などの農産物のほか、梅干し、漬物、斎川に加工場を持つ白石陽光園のかりん糖、豆腐などの商品が並べられています。

営業日は、火・木・土・日曜日の週4日で、午前10時から午後5時までとなっています。



▲おいしそうな地場産野菜が並べられています!

からだ 健康な身体をつくり、守っていきましょう!!

☎健康推進課 ☎22-1362

■予防接種のお知らせ (場所:健康センター)

内 容	月 日	対 象 者	受付時間
ポリオ(2回目)	5月19日(金)	平成17年1月1日～6月30日生	13:30～14:30
ポリオ(1回目)	5月30日(火)	平成17年7月1日～12月31日生	13:30～14:30

※母子健康手帳、予防票をお持ちください。

■各種検診申込のお知らせ

今年度も各種検診の申し込みを一括して行います。申込用紙が送付されましたら、受ける・受けないにかかわらず、必要事項を記入の上、5月8日(月)まで返信用封筒で郵送いただくか、または健康推進課に直接提出してください。提出しないと各種検診が受けられなくなりますので、ご注意ください。

■肺炎を予防する「肺炎球菌ワクチン」の接種をおすすめします。

市では、高齢者に多い「肺炎球菌」による肺炎を予防するため、65歳以上の方を対象に肺炎球菌ワクチン予防接種料金の一部補助を行っています。

予防接種を希望される方は、かかりつけの医療機関にご相談ください。
(白石市・蔵王町・七ヶ宿町の医療機関で接種できます。)

- 実施期間 平成19年3月31日まで
- 対 象 者 65歳以上の方で肺炎球菌ワクチン未接種者(ただし、市内に住所を有する方)
- 接種料金 8,000円(自己負担5,000円、市補助3,000円)

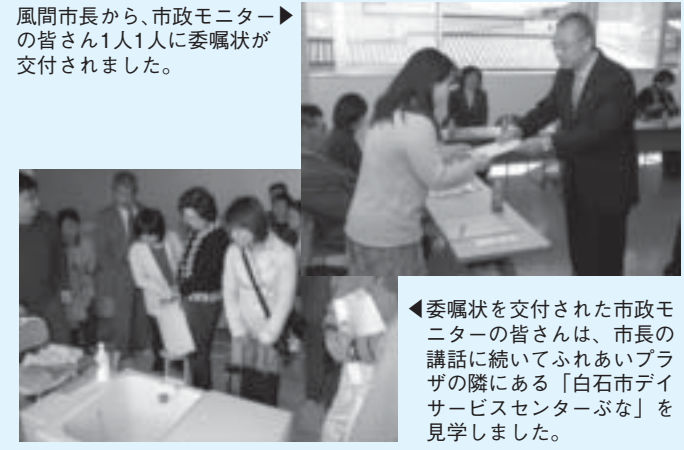
■65歳からの運動教室(第1回目)受講生募集

65歳以上の方を対象に元気な身体づくりに取り組む教室を開催します。家庭でも無理なくできる運動です。体力にやや不安がでてきたかな、健康のために何かはじめてみたいと思われる方、教室に参加してみませんか。

- 日 時 6月14日・21日・28日、7月5日・12日の5日間 いずれも水曜日 10:00～12:00
- 場 所 介護予防センター
- 内 容 講話・ストレッチ・筋力トレーニング・バランストレーニングなど
- 対 象 者 65歳以上の市民の方で5回とも参加できる方
- 募集人員 25名(申込順)
- 受 講 料 無料(保険料自己負担)
- 指 導 者 健康運動指導士、保健師など
- 申込受付期間・時間 5月8日(月)～26日(金) 8:30～17:15(土日を除く)
※期間厳守をお願いします。
- 申し込み・問い合わせ先 国民健康保険係 ☎22-1362



風間市長から、市政モニターの皆さん1人1人に委嘱状が交付されました。



▲委嘱状を交付された市政モニターの皆さんは、市長の講話に続いてふれあいプラザの隣にある「白石市サービスセンターふな」を見学しました。

4月9日、ふれあいプラザにおいて、平成18・19年度の「市政モニター」の委嘱状交付式が行われ、40名の皆さんが風間市長から委嘱状を受け取りました。

この制度は、市民の生の声をお聞きして、市民の信頼と協力の上に立つた市政を目指すとともに、「市民とのパートナーシップによるまちづくり」を進めるため、平成4年から設けられた制度です。

今回で8代目のモニターとなる皆さんには、今後2年間、市政への提言や市のアンケート調査などに協力していただきます。皆さん、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2年間よろしくお願いします!! 市政モニターに委嘱状を交付